

~~~~多摩川を歩く⑨~~~~

日時:2018年6月9日(土) 天候:晴れ時々曇り 25000歩 約18km

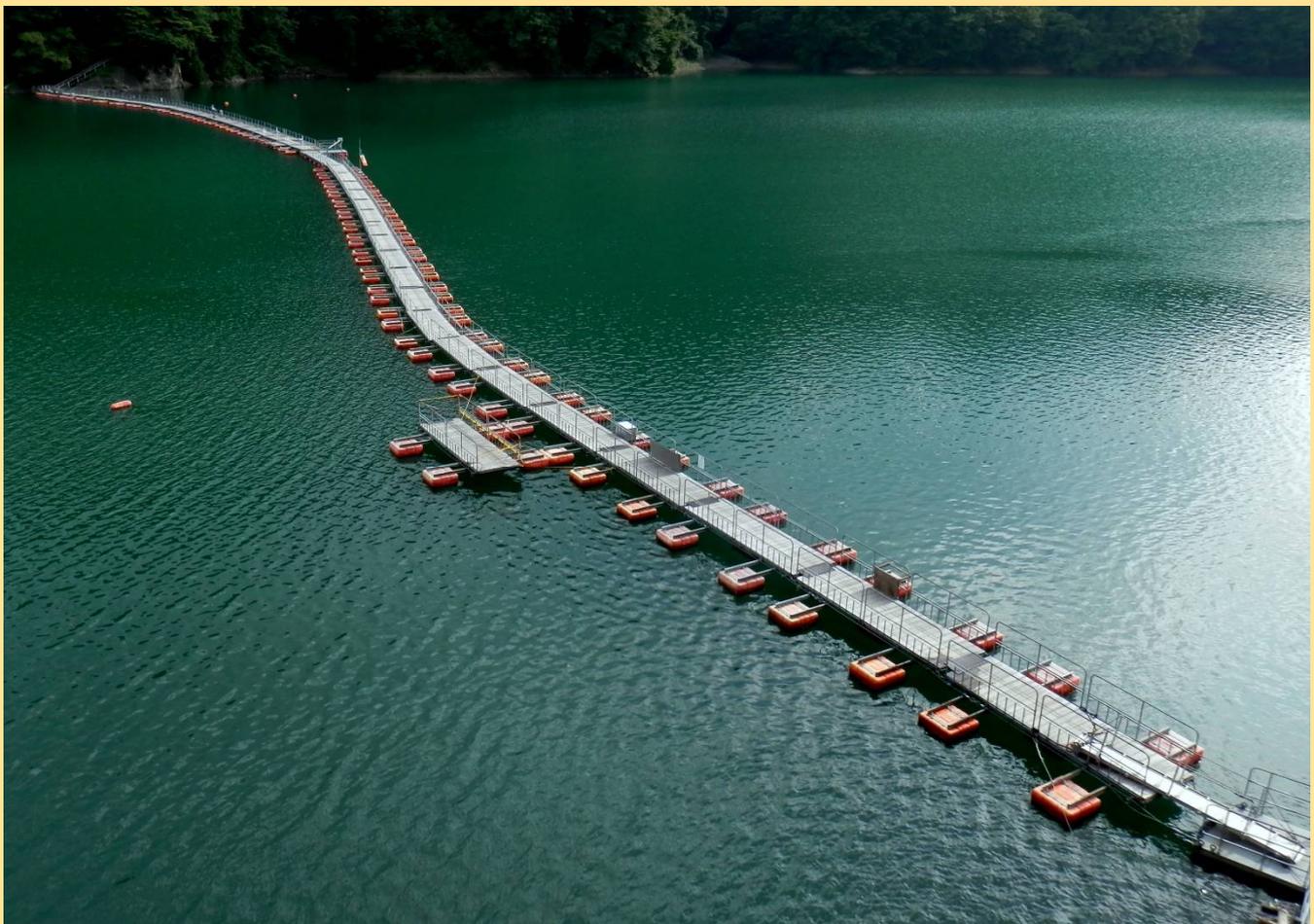
集合:青梅線奥多摩駅 10時30分

コース:奥多摩駅(バス)→奥多摩湖→小河内ダム→奥山湖いこいの路→山のふるさと村→麦山の浮橋→峰谷橋(バス)
→奥多摩駅(解散)

参加者:熊坂(L) 中村ゆ(SL) 勅使河原 大平 高橋文 伊藤眞 青松秀 小林 河野 山内 清水正 宮野 小島
落合 栗田 市村 高橋紀 丹後 平吹 志村 畠 福生 計22名

今回のウォークスタートは奥多摩湖。奥多摩駅から湖畔までは楽々のバス移動！関東地方は例年より早めの梅雨入りとなり、この日の予報は曇りで雨も心配されたが来てみると青空！前回クールダウンをした広場でストレッチとコース説明。そこから小河内ダム堰堤上を歩くと右手には満水の湖面、左は足が震えるような(私だけ！)提高149mのダム壁で、展望塔に上がると眼下には多摩川第一発電所があります。源は笠取山南斜面下の「水干」ですが、「多摩川」の名称はこの小河内ダムから下流。この奥多摩湖へは丹波川が流れ込み、その上流は一之瀬川となり源流点に至ります。堰堤を過ぎると、ここからは「奥多摩湖いこいの路」を歩くことに。この道が本日のメインルートです。地図で見るとこのコースは湖の南岸を縫うように作られていて、右手には木々の間から覗く深緑色の湖面があり、左手は今にも崩れて来そうな切り立った斜面が続きます。所どころには東屋が設けられ休憩ポイントには最適。その一つ「いこいの広場」でランチタイム。この場所からは、先ほどスタートしたダムサイトが遠望できる絶景の場所ですが、小さな羽虫が目の周りを飛びまわり、おちおち食べていられません！このコースのゴール地点の「山のふるさと村」で最後の休憩。奥多摩湖にある浮橋の一つ「麦山の浮橋」は、以前はドラム缶橋でしたが、今は発泡スチロールを並べた浮力十分な安全性の高いもの。結構揺れましたがここは何とか・・・バスの時間の関係で小河内神社はカットし、峰谷橋バス停から奥多摩駅へ戻りました。コース全体は若干のアップダウンがあったがほぼ平坦で歩きやすく、季節を変えて来るのもまた良いかも・・・皆さん一日お疲れ様でした！

<フォトレポート 小島>



<奥多摩湖を渡る浮橋の一つ「麦山の浮橋」 湖面を二つに分けるように伸びる人道橋です>



奥多摩駅で打ち合わせ中の熊坂Lと中村ゆSL。



駅前からはバスで。車内では資料を勉強中の人も？



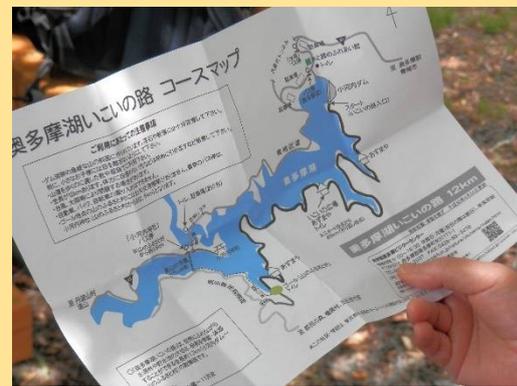
奥多摩湖に到着。バス移動は楽ですね〜♡



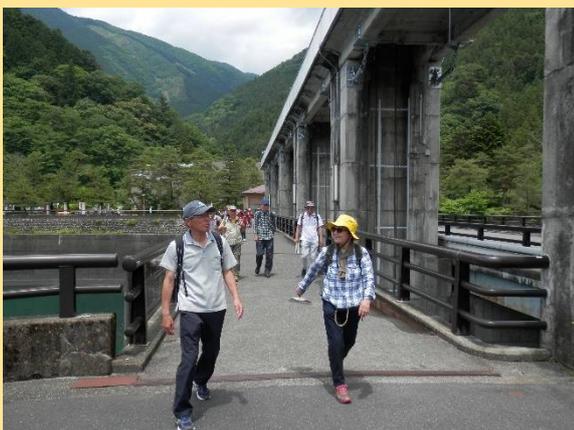
熊坂Lのストレッチ。皆さんは日陰で楽をしている？



この足の伸びはお見事！（マネはムリ？）



分かりやすい詳細地図でのコース説明。



まずはダム堰堤上からスタートです。



右手の湖面は風もなく油絵のよう。



三階建ての小河内ダム展望塔に上ります。



眼下には発電所。ここが多摩川の起点です。



室内には小河内ダムの全景模型も。



下では四人で“女子会”中か？



ここで遅刻者が合流。誰だ？



堰堤の先から「奥多摩湖いこいの路」がスタート。



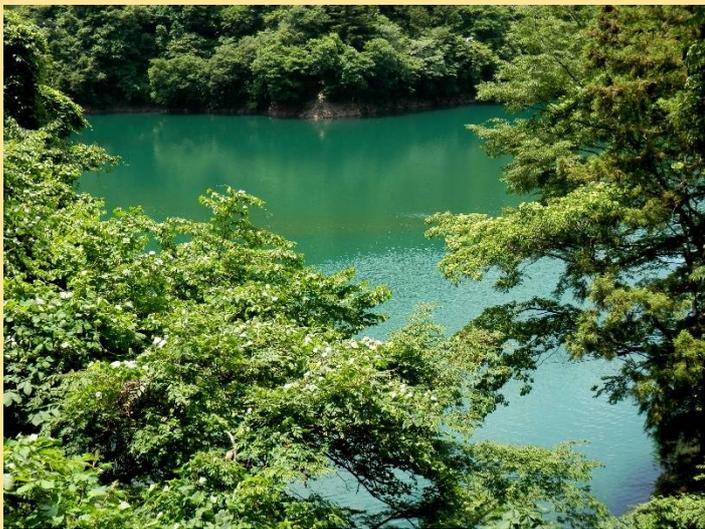
白雲を湖面に映す静寂の湖。(皆さんの話し声が・・・微妙)



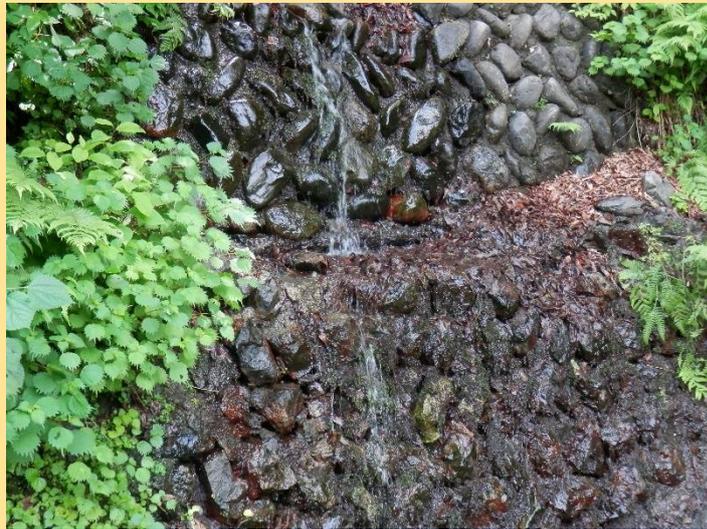
舗装はされていないが歩きやすい道。



さあ、ここからは緑溢れる世界に入ります！



水際には白い葉の猫が大好きなマタタビが見られる。



コース上には小さな流れ込みがあり涼を呼びます。



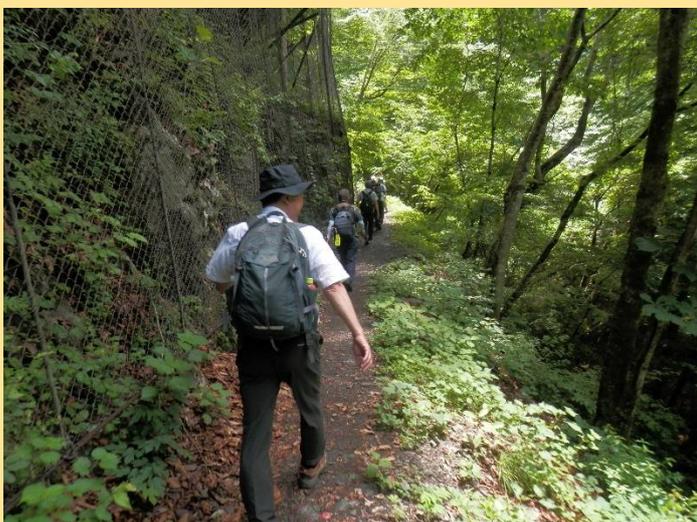
最初の東屋で休憩タイム。おやつを頂き糖分も補給！



エネルギーを入れたところで出発です！



日差しがやや強くなってきました。



左は頭上に岩盤、右側は湖水。よそ見は危険！



溪流沿いの涼しい道も。ランチ場所まだ～？



差し込む光線により木々や湖面の色が微妙に変化し、目を楽しませてくれます。

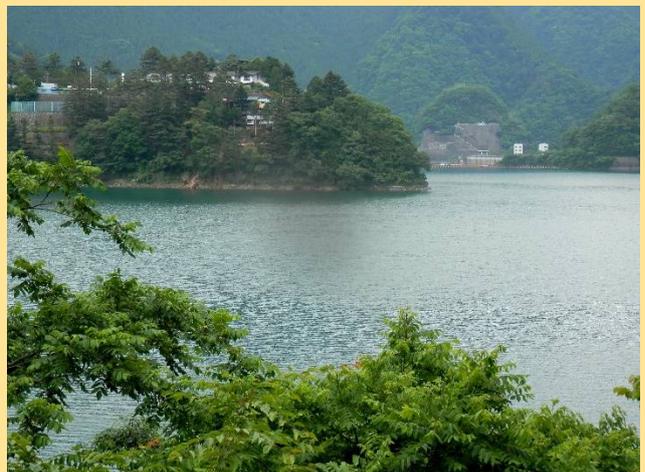


素晴らしいロケーションの「いこいの広場」でお待ちかねのランチタイムです。



こちらは東屋組？

湖を眺めながらのお弁当は最高です！



仲良しコンビはベンチで。

遠か遠くにはダムの展望塔も見えます。



食後はお決まりの集合写真。湖を背にしたら斜め光線で皆さんの顔が影になりました！



この地図の[現在地]がランチ場所の「いこいの広場」。湖に沿ったルートなのが分かります。



この頁の写真はすべてカメラ設定が「マジックフィルター」でのもの。色が強調され非現実的な色彩になります。



奥多摩湖を渡る浮橋の一つ「麦山の浮橋」上で全員集合。足元は揺れますが皆さん笑顔でポーズ！



こうして見ると湖面はかなり下になります。



バス停のある峰谷橋。赤いアーチが湖面に映える。

[奥多摩湖]

東京都西多摩郡奥多摩町の西端、多摩川の上流にある人造湖。東京都民の上水道供給のため、1938年(昭和13)小河内(おごうち)ダムが着工、第二次世界大戦で一時中断されたが、戦後の1948年再開され、1957年完成して湖が出現した。総経費約200億円、947世帯の移転家屋と87人の殉職者を出す。小河内ダムは、高さ149メートル、長さ353メートル、頂幅11.6メートルの非溢流(ひいつりゅう)型直線重力式コンクリートダムで、水道用ダムとして世界有数の規模である。湖の満水面積は4.25平方キロメートル、総貯水量1億8910万立方メートル、五つの橋が架かり、ニジマス、ヤマメ、ハヤ釣りの名所となっている。秩父多摩甲斐(ちちぶたまかい)国立公園に属する。(Webサイトより抜粋)



最後は峰谷橋の袂で。バスの時間が気になるので急いで並んでもらいました。



橋の向こう側にあるバス停を目指します。



欄干には釣り竿が・・・こんな所で釣り？



峰谷橋停。次回はここがスタート地点です。



奥多摩駅に到着。さあ帰りますよ～